

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2021

分科会－「ESD for 2030学び合いプロジェクト」の挑戦－

分科会3

地域に根ざした多様なSDGs人材育成

～ 四 国 ～



オンライン開催
参加費無料

四国 ESD

バーチャル大学(ESDVU)

開講！

*ESD:「Education for Sustainable Development」の略

今年度よりスタートした「四国 ESD バーチャル大学(ESDVU)」。

どこにいても気軽に ESD に触れていただけるよう、オンラインで学びの場を提供しています。

「ESD for 2030」* を踏まえ、学びから目指すのは「地域循環の推進による社会変容」です。

どの回からでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。

*ESD for 2030 とは

「持続可能な開発のための教育(ESD)」の更なる取組を促すため、新たな国際的枠組み「持続可能な開発のための教育：SDGs達成に向けて(ESD for 2030)」*の決議が、2019年12月19日の第74回国連総会において採択されました。

※英名: Education for Sustainable Development: Towards achieving the SDGs(ESD for 2030)



四国地方 ESD 活動支援センター
Education for Sustainable Development



ローカルSDGs 四国

いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

LS 四国ニュースレター
創刊号 (2021年9月)

〈LS 四国ロゴについて〉

四国各県の特徴を表す色でローカルSDGs 四国のロゴを囲み、循環する様子を表現しています。

徳島：藍／香川：オリーブ／愛媛：柑橘／高知：太平洋

■ローカルSDGs「地域循環共生圏」とは

背景

環境省は、環境・社会・経済の課題の同時解決と地域資源を活かし、持続的に循環させることで、農山漁村も都市も持続可能な社会を実現するための新しい概念「**地域循環共生圏=ローカルSDGs**」を提唱しています。

四国は、急速に進行する人口減少や高齢化、大規模自然災害の発生などにより、地域の存続に関わる難題に直面しており、次世代に伝えたい地域資源や固有価値、私たちの日々の暮らしや産業活動にまでも影響を与えています。

このような四国の地域課題を解決し、地域創生の成果を確かなものとし、持続可能な地域づくりを進めていくためには、「地域循環共生圏=ローカルSDGs」の達成に向けた取組を積極的に推進することが重要であると考え、この度、この取組を推進するプラットフォームとして「**ローカルSDGs 四国 (略称：LS 四国)**」を立ち上げました (2月17日に設立総会開催)。

ビジョン

いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

自然資源の恵み・つながりを活かし、伝え、地域・社会がそれぞれの特性を発揮しながら、連携して支え合い、SDGsの目指す環境・社会・経済の調和を図りながら持続発展する、活力あふれる四国地域の創造

行動指針

LS 四国は、ビジョンを達成するためにローカルSDGs (地域循環共生圏) の考え方を尊重し行動します。



分科会① 四国 ESD

ESD は、日本が国連に提唱しユネスコをリード機関として世界で実施してきた「持続可能な開発のための教育」です。

ESD は 2015 年に採択された SDGs の 4.7 に位置づけられました。2020 年には「ESD for 2030」が国連で採択され、SDGs 達成に必要な実践的教育活動として各国の国内実施計画の策定が行われています。四国においても、2003 年より各種勉強会や実践が行われ、ESD を実践するユネスコスクールや社会教育関係者等の主体とともに地域課題解決に向けて取り組んできており、2017 年に環境省と文部科学省による四国 ESD センターが開設されて以来、全国の ESD センターとともに ESD 推進に努めてきました。

これらを踏まえ、四国内で登録されている 15 か所の地域 ESD 活動推進拠点とともに、四国の SDGs 達成に貢献していきたいと思えます。



四国 ESD バーチャル大学開催中!

今年度よりスタートした「四国 ESD バーチャル大学 (ESDVU)」。どこにいても気軽に ESD に触れていただけるよう、オンラインで学びの場を提供しています。

【これまでの開催内容】

- 第1回 出してみようパブコメ! ESD 国内実施計画パブリックコメント勉強会 (四国)
- 第2回 結果どうなった!? ESD 国内実施計画
- 第3回 「衣」類から考えよう! SDGs
- 第4回 「食」から考えよう! SDGs
- 第5回 地域が変わる! SDGs
四国 ESD 実践事例紹介

ご案内

第6回 「住」から考えよう! SDGs

2021年10月19日(火) (参加費無料)

第1部: 15:00 ~ 16:30

第2部: 16:30 ~ 17:00



四国地方 ESD 活動支援センター 〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目1-1 高松第一生命ビル新館3F
TEL:087-823-7181 FAX:087-823-5675 E-mail: info@shikoku-esdcenter.jp
HP・SNS: <https://shikoku.esdcenter.jp/>



四国地方 ESD 活動支援センター
Education for Sustainable Development

四国には**16**の地域ESD拠点があります！

愛媛県

- ① 新居浜市教育委員会
- ③ IKEUCHI ORGANIC株式会社
- ⑦ 株式会社平野 平野薬局
- ⑧ NPO法人 えひめグローバルネットワーク
- ⑭ 一般社団法人ノヤマカンパニー
- ⑯ NPO法人 どんぐり王国

香川県

- ② 高松ユネスコ協会
- ⑨ うどんまるごと循環プロジェクト
- ⑮ 善通寺こどもエコクラブ



高知県

- ⑤ 株式会社 土佐山田ショッピングセンター
- ⑥ 室戸ジオパーク推進協議会
- ⑬ 株式会社 相愛

徳島県

- ④ 株式会社 ハレルヤ
- ⑩ 一般社団法人そらの郷
- ⑪ パンゲアフィールド
- ⑫ 株式会社 井上組



地域やセクターを超えた
つながりを構築したい

「四国ESDバーチャル大学」
ならインターネットを活用した
意見交換やマッチング等の
機会を創出できるのでは

学びや実践のアーカイブ
づくりもできるよね！



オンライン開催
参加費無料

四国 ESD

バーチャル大学(ESDVU)

開講！

*ESD:「Education for Sustainable Development」の略

今年度よりスタートした「四国 ESD バーチャル大学(ESDVU)」。

どこにいても気軽に ESD に触れていただけるよう、オンラインで学びの場を提供しています。

「ESD for 2030」* を踏まえ、学びから目指すのは「地域循環の推進による社会変容」です。

どの回からでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。

*ESD for 2030 とは

「持続可能な開発のための教育(ESD)」の更なる取組を促すため、新たな国際的枠組み「持続可能な開発のための教育：SDGs達成に向けて(ESD for 2030)」*の決議が、2019年12月19日の第74回国連総会において採択されました。

※英名: Education for Sustainable Development: Towards achieving the SDGs(ESD for 2030)



四国ESDバーチャル大学

目的

地域循環の推進による社会変容

テーマ

「消費者教育の推進と社会変容
～ジェンダーの視点&エネルギーシフトの視点～」



今年度は**7**回開催しました！

第1回
5月

出してみようパブコメ！
ESD 国内実施計画案
パブリックコメント勉強会
5月1日(土) 15:00~16:30

第2回
6月

結果どうなった！？
ESD 国内実施計画
6月30日(水) 13:00~14:30

第3回
7月

衣類から考えよう！SDGs
7月12日(月) 16:00~17:15

第4回
8月

「食」から考えよう！SDGs
8月10日(火) 13:00~14:30

第5回
9月

四国のESD取組紹介
9月25日(土) 13:00~15:00

第6回
10月

「住」から考えよう！SDGs
健康な暮らしと
地球環境の未来を考える
10月19日(火) 15:00~17:00

第7回
11月

地域ESD拠点交流会
11月19日(金) 13:00~15:15



「衣」から考えよう！SDGs

衣類のリサイクルとは

- 衣類の寿命を延ばすことで、二酸化炭素排出量を抑制。

衣類を二次利用三次利用することで衣類の寿命を延ばすことができる。
新たな資源を使わずに、資源を有効活用できる。

- 世界でリユースすることで、健康的な生活を実現。

開発途上国にも日本向けに作られた質の良い衣類を比較的安価に届けることができる。

- もったいないという人の思いをつなぐ。

思い入れのある衣類をただゴミにするのではなく、必要としている人に届ける。





ESDバーチャル大学
衣類から考えよう！SDGs【四国ESDバーチャル大学(ESDVU) 第3回勉強会 講演ア...



日本人一人当たりが
一年間に排出する衣類の量



その他の動画

▶ 🔊 1:49 / 29:36

拡大/縮小/詳細を表示



「食」から考えよう！SDGs



穀物発酵食品(*maRewu*)



1 導入

昔はどうだったの？



2

今はどうですか？



LEADING QUESTIONS

REFLECTION

糖尿病
肥満
カンジダ

SHARED CONCERNS

4

どのようにすればいいのでしょうか？
共により持続可能な社会を目指し



両方

または
自家製？



3

これは現代の私たちにとって
どのような意味を持つのでしょうか。



私たちの記憶で過去に触れ、想像力の翼で未来を感じる (Mhlope, 2021)

「住」から考えよう！SDGs



—長期視点での選択—

暮らしに関わるものこそ、
人にも環境にも優しく

・長い視点での『住』

住宅、家電、電気などのライフライン

買い替え等選択の機会は少なくコストもかかるものだが、長期的にみるとその後のQOLや電気料金等で回収可能

一度替えると、何もしなくても状態を保てる ex)再エネ

・身近な視点での『暮らし』

食べ物、日用品、生活習慣など

日常の行動を見直し、変える機会がたくさんある

行動を変えるのは簡単ではないが、ルーティーン化すると無意識にできる

「地域に根ざした多様なSDGs人材育成」

ESDを軸に、どこにいても、誰でも
一緒に学び合うことができる

多様な参加者

- ▶ 10代～90代までの参加者。
- ▶ 3割近くが10代20代という回も。
- ▶ 高校生や大学生を含む、世代を超えた学び合いが実現
- ▶ 学校、地域、企業など立場にとらわれない学び合いが実現
- ▶ イタリア、カンボジア等、場所にとらわれない学び合いが実現



「地域に根ざした多様なSDGs人材育成」

参加者から

「知ることだけでなく行動にすることの重要性を改めて感じました。行動につながってこそその教育だと思います。」

「最近、環境問題を勉強したりするなかで、バーチャル大学で学んだことが理解を深めてくれていることをよく実感しています。」

「地域に根ざした多様なSDGs人材育成」

学びの可能性を広げ、ネットワークを維持し
且つ豊かなものにする

深掘りタイムの効果

「社会変容として何がどう繋がるか」

- ▶ ESDやSDGsを推進するとどんな「おいしいこと」があるのか

「小さくても目に見えるものを」

高校生「SDGsに関心のある仲間を集めて、現場の見学ツアーをしてみたい！」

地域ESD拠点に登録したいな・・・

地域ESD拠点のネットワークでESD・SDGsツアーをやってみよう！

持続可能な
四国へ！

